

令和5年度共同募金（赤い羽根募金と歳末たすけあい募金）の一括依頼と運動の推進計画

計画の趣旨

共同募金の実績の内、戸別募金（各家庭にお願いする募金）が大きな割合を占めています。共同募金がより一層「地域福祉活動の推進」に必要な財源としての役割を担うためにも、集めていただいた募金の使いみちを主に地域での福祉事業や活動などへの支援として活用していく方針です。

本運動に対する市民参加意識の高揚並びに募金の使いみちの明確化・透明化を図るため、公開プレゼンテーションの実施、募金実績や使いみちを掲載した世帯向け『共同募金チラシ』、企業・店舗向け『振込用紙付きチラシ』、ホームページによる効果的な広報・啓発を実施します。さらには、募金箱の新たな設置を推進し、運動の啓発および募金実績の増加を目指します。

	令和5年度の募金運動計画	主な協力先
名 称	共 同 募 金（10月～12月）	
戸別募金 （世帯が対象）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 募金活動は赤い羽根募金と歳末たすけあい募金を一括で行う。 赤い羽根募金と歳末たすけあい募金を一緒に集めていることを周知する。 ・ 目安額を600円とする 募金はいくらでも強制ではないが、各世帯へお願いしたい募金の目安額を設定する。 ・ 各町内へ世帯向け『共同募金チラシ』を回覧依頼 （9月以降に開催される各学区総代会へ学区担当職員による資材搬入と説明） 	総代、組長
法人募金 （企業等が対象）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1事業所（1企業）3,000円を目安とする ・ 民生委員児童委員の方々による担当地区の企業訪問、新規開拓企業と理解・協力のある事業所、関係団体等への訪問依頼 	民生委員児童委員

	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所会報に振込用紙付きチラシを折り込み、会員企業への共同募金の宣伝・啓発。 (約 4,400 部) 	商工会議所
学校募金	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や幼稚園、各学校において共同募金運動が福祉の学校教育の一環として位置付けられるよう児童・生徒向けの運動の普及啓発。 	保育園、幼稚園 学校関係
職域募金	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1人100円以上を目安とする 市役所、関係諸団体、施設、その他、学校の教員や企業等の従業員を対象に依頼をする。 	職員、従業員、教員など
街頭募金	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金の広報・啓発を目的に、ボーイスカウト、ガールスカウト、福祉教育推進校の高校生ボランティアや共同募金受配団体に積極的な参加を求め、社協役員や職員と街頭で募金運動を展開する。 ・10～11月に実施予定。10月1日(日)、10月14日(土)、11月11日(土) 午前10時30分～11時30分 実施予定場所：JR岡崎駅、ピアゴ洞店、イオン岡崎南店、アピタ岡崎北店、他10か所 	ボーイスカウト、ガールスカウト、学生ボランティア 共同募金受配団体など
募金箱の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の商業施設や市民が行き交う公共施設などを中心に積極的に募金箱を設置する。 ・ホームページや広報紙で設置協力者を募集する。 	企業・店舗・公共施設など
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根協賛児童生徒作品コンクールへの参加を呼びかける。また、各小中学校から推薦された優秀作品を市内の商業施設に展示をする。 ・令和6年2月開催の岡崎市社会福祉協議会が実施する公開プレゼンテーションを通して、赤い羽根共同募金についてPRすると共に、募金の使いみちについて透明化を図る。 	各小・中学校・美術館・商業施設